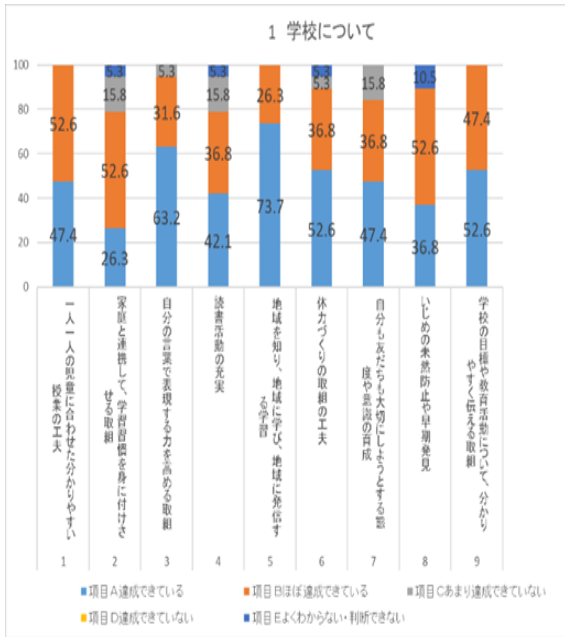


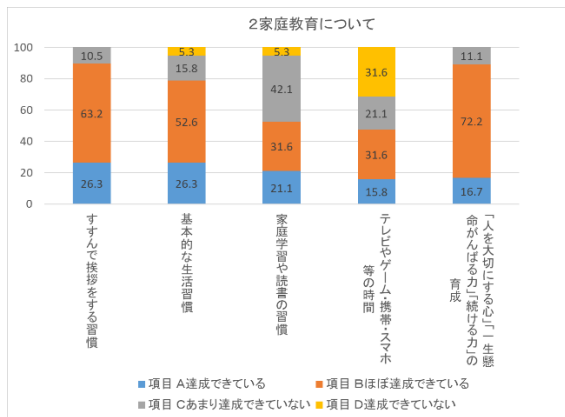
令和元年度 天津小学校 学校評価について

保護者アンケート結果



〔成果〕

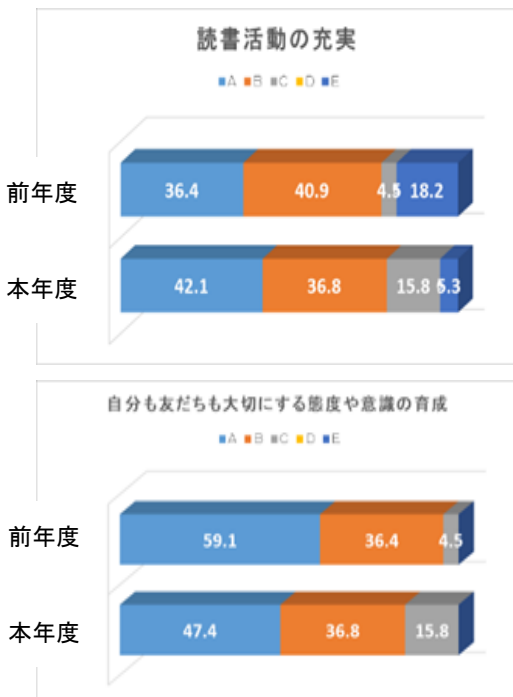
- 全ての項目でD評価（達成できていない）はなかった。
- 以下の「項目1」「項目5」「項目9」については、肯定的な評価（A評価とB評価）が100%となっている。
- 項目1「一人一人の児童に合わせた分かりやすい授業の工夫」については、少人数のよさを生かして一人一人の課題に応じた学習を進めた。また、ペア学習やグループ学習を取り入れて、自分の考えを発表し、友達と学びあう活動を多く取り入れた。
- 項目5「地域を知り、地域に学び、地域に発信する学習」については、今年度天津小学校最終年度となり 生活科・総合的な学習の時間を中心に地域について学び、学んだことを「天津っ子発表会」や「きらきらスピーチ」で発信した。
- 項目9「学校の目標や教育活動について、分かりやすく伝える取組」については、学習参観・体育祭・天津っ子発表会での児童の姿や学校だより・学級通信ならびにホームページで、学校の取組を伝えた。



〔課題〕

- 読書活動の充実について
前年度は、Eよくわからない・評価できないというが多かったので、本年度は、前年度の取組に加えて「目標 全校で4380冊」（前年度より380冊目標の増加、1月末で達成）、図書便りの発行、読書環境の整備などの取組を続けたが、結果として「Cあまり達成できていない」の評価が増えました。これは、家庭での読書量が少ないのではないかと考え、3学期から、「親子読書」に取り組んでいます。
- 自分も友だちも大切にしている態度や意識の育成について
「Cあまり達成できていない」の評価が前年度より約10%増えた。道徳や人権学習の公開、自分や友だちのいいところを見つける取組を行った。しかし、子ども同士のトラブルについて、納得する解決が不十分な時がありました。教師が、双方の話を丁寧に聞き、解決に導くことと、納得のいく折り合いをつける力を身に付させたいと考えます。

昨年度との比較（課題となる項目のみ）



学校関係者評価委員会でいただいた意見

- 成果も課題も少人数のことが多いと思うが、特に学習やスピーチでは「少人数のよさ」を十分生かしていただいた。
- 統合に向けて、様々な場合を想定して対応していただいている。
- 少人数なので、なかなかむずかしいと思うが、教師が手を出しすぎるのではなく、ある程度手を離して「子どもに任せる」部分を増やす必要がある。